

空き家・空き店舗について



うすば よしひろ
薄葉 好弘 議員

〔答〕 本年度計画書作成、30年度調査実施

薄葉 補正予算による空き家調査を業務委託するが、具体的にはどこに委託するのか。
また、調査を実施した結果を踏まえて、町は何らかの対策を講じる予定があるのか。国では、中心市街地の活性化を図るとして、空き店舗の解消に向けて今後は課税強化する方針であるが、町の所見をお尋ね致します。

事業の申請が採択されたものであります。事業予算は1200万円で交付金50%、残り50%が交付税措置されるものであります。29年度調査計画書作成、30年度外観調査等を行い、空き家台帳として整備します。尚、委託先については、本町の調査業務に登録されている業者を想定しています。
台帳作成後の31年度から、貸し手と借り手のマッチングサービスを開始し、移住者支援団体と連携し推進していきます。



中心市街地

町政を問う（一般質問）

復興計画について

〔答〕 計画通り順調に進んでいる

薄葉 復興計画による復興期の最終年度で、計画達成に向けた進捗状況はどうか。復旧計画によるのか。復興計画による発展期の計画では、第6次まちづくり総合計画の中でどのように取り込まれているのか。平成23年から平成29年まで復旧から復興へ取り組んだ経過を含めた報告書のような冊子を発行する予定はあるのか。

町長 本計画は、平成23年から平成32年までの10年間とし、当初3年間を「復旧期」、中間4年間を「復興期」、最終3年間を「発展期」と位置づけ、段階的に取り組んでおります。
本年度は、復興期の最終年度となることから各種事業の進捗状況を確認し、発展期を見据えた新たな展開を目指してまいります。

本計画では、
・農地部門を最優先と



一区自治会館

した震災からの復旧除染計画に基づく町内全域の除染
・原子力損害賠償紛争審査会決定の中間指針の撤回。
・中心市街地復興・街づくり推進事業を中心とする復興に向けた取り組み
・防災体制の再構築を5つの最重点課題として取り組み、事業が順調に進められました。
現在は、中心市街地の復興へ向けて、矢吹駅周辺地区都市再生整備計画事業でポケットパークの整備や複合施設事業の確実な推進に努めております。

その他の質問事項

・鬼穴古墳の修復について